

会社名 ピーブル株式会社

上場取引所 東 スタンダード

コード番号 7865

(https://www.people-kk.co.jp/)

代表者 取締役兼代表執行役 桐淵真人

問い合わせ先: IRチーム 小岩朋紀

TEL:03-3862-2768

◆売上高(単月) 前年対比

(金額単位:千円)

4 月度 (単月)	前期: 2025年1月期	当期: 2026年1月期	前年同月比
乳児・知育・構成玩具カテゴリー	165,178	132,516	80.2%
メイキングトイカテゴリー	2,178	644	29.6%
その他(遊具・乗り物・育児等)	13,867	7,654	55.2%
海外販売・ロイヤリティ収入	15,900	11,221	70.6%
合計	197,123	152,036	77.1%

2～4 月度 (累積)	前期: 2025年1月期	当期: 2026年1月期	前年同期間比
乳児・知育・構成玩具カテゴリー	284,548	239,598	84.2%
メイキングトイカテゴリー	5,225	1,347	25.8%
その他(遊具・乗り物・育児等)	40,132	16,643	41.5%
海外販売・ロイヤリティ収入	50,576	31,359	62.0%
合計	380,481	288,947	75.9%

◆4月度発売新商品・リニューアル商品

商品カテゴリー名	商品名	標準小売価格(税込)
乳児・知育・構成玩具カテゴリー	「チアBoo!」	¥4,950
	「じぶんでキラッ!クルッ!ドーム」	¥4,400

◆4月度および直近TOPICS

- 当社国内販売の乳児・知育・構成玩具カテゴリーにおいて、好調の「ピタゴラスボールコースター」に加えて、4月新発売の上記2商品の初動が良く、取扱店の増加により売上貢献が期待できます。物価高を受けて家計の節約志向は強まりがちでありながら、サービス消費は回復基調にあります。同時に、5/7日にローンチした好奇心事業第1弾「1 curiosity® (ワンキュリオシティ)」シリーズのセールスは体験型マーケティングを取り入れ、顧客エンゲージメント強化が販売に繋がっています。詳細は次月度にて。

●直近のメディア掲載情報

- ・2025/4/28【雑誌】 Newsweek (国際版) に代表の桐淵のインタビュー(Curious Toys for Early Development)が掲載されました。
<https://www.newsweek.com/sponsored/curious-toys-early-development>
- ・2025/5/8【プレスリリース】「1 curiosity® (ワンキュリオシティ)」、5月7日より公式オンラインショップにて販売開始!
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000223.000045493.html>
5/24(土)～6/6(金)
代官山 蔦屋書店1号館2階キッズフロアにてポップアップストアの展開。



- 第4回「投資家向け会社説明会」の動画を配信しております。今回はIR活動報告として、日頃、当社に寄せられるご質問について代表の桐淵がお答えしています。当社ホームページのIR情報 <https://www.people-kk.co.jp/investorrelations/> に掲載の動画をぜひご視聴ください。また、6月初旬に1Q決算ハイライト動画の配信も予定しております。
- 6月より当社公式note「ピートラ」にて、IR担当者による発信を予定しております。

昨年および昨年度、事業終了など抜本的な改革により収益改善を図りました。事業終了により確保したリソースを新事業開発チームに最も多く割り当てつつ、新事業をスムーズに、スピーディに創出する新たな仕組みづくりを、中期的な視点に立ち実施しています。直近ではパースのキーワード「子どもの好奇心」を軸に8つの新事業チームが進行しており、その「好奇心事業」第一弾のローンチを2025年春(2026年1月期)に計画しております。

一方、このローンチに向けて、当社の取り組みを広く認知していただくことが、商品ブランド育成に重要と考え、広報活動を積極的に行っております。

また、2022年より活動を開始した当社「ピーブル赤ちゃん研究所」は当社のコアコンピタンスである「赤ちゃん観察視点」を社内外に伝えることを目的とした活動を展開しており、母親、父親向け「赤ちゃんをあじわうワークショップ」を主活動とし、地方自治体や教育機関とのコラボレーションも実施しております。

これら中期を見据えた施策を行いつつ、短期的な収益性改善策として、以下のような活動を継続的に行っております。

- ①既存ロングセラー商品のリブランディングによる、販売数の底上げ
 - ・シリーズ内の新商品の発売キャンペーン
 - ・周年イベントの開催(2026年1月期: やりたい放題40周年、ピタゴラス33周年、お米のおもちゃ15周年)
- ②PR、IR活動にリソースを割り、情報発信力を強化

(ご参考) 業績予想 (2025年6月2日公表) 2026年1月期第2四半期 (2025年1月21日～2025年7月20日) 業績予想

	2026年1月期第2四半期 業績予想 (百万円)	前年同期間比 (%)
売上高	586	81.7
営業利益	△ 175	—
経常利益	△ 176	—
当期純利益	7	—